

おしゃべり通信

No. 225 H30. 8. 15 発行 如春会 浦田医院

～H29 年4月発行 日本小児科医会会報特集～

スマホパンデミック！②

＜スマホ社会の落とし穴＞

実はこの問題は決して他人が解決してくれる問題ではありません。何故なら、この瞬間も一刻一秒育っている「貴方のお子さん」や「この地域で育っている子供達」のお話だからです。「自分の子供をより健康に育てたい」と思うなら、「よその子も健康に育って」いなければなりません。自分の家族だけで頑張っても社会から受ける影響、特に電子メディア絡みの事象は、どう転んでも社会生活(子供の場合は学校・部活そしてお友達関係)と関係しており、決して小さいものではないからです。その生育環境を守っていて、一番近くにいる保護者の皆さんが「なんか変だ」という事に気が付くなら、外ならぬ「貴方」が「貴方達が育てている子供達の為」に、ひいては貴方自身の幸せの為に、少しずつ何かを変えなければならない類の事だと気が付かざるを得ないのです。

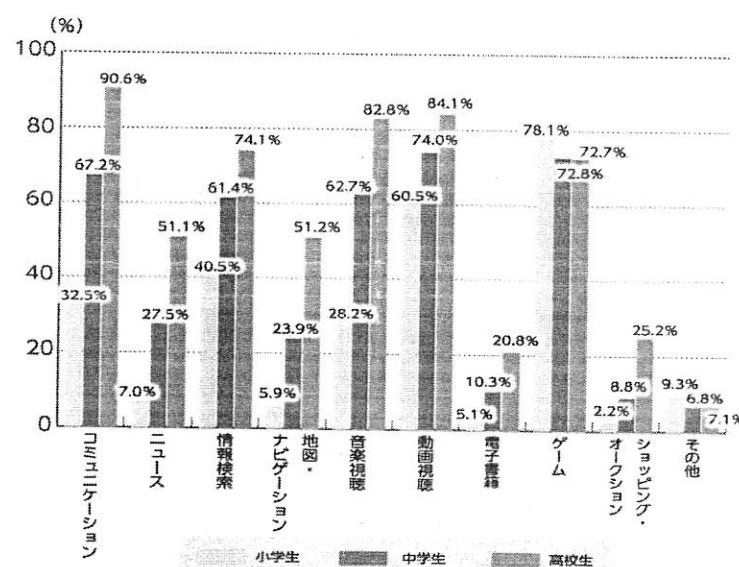
残念ながら、当事者である子供達にはその生育環境を評価する事はできません。何故なら、生まれた時からその環境しか知らないからであり誰かが教えない限り、これが唯一無二、比較の対象がある事にすら気が付くことはできないのです。そして、私達大人達が子供達に「世界は広く、違った生育環境もあるのだ」という事に気が付く機会を与えているかと言えば、それについては甚だ心もとないと言いきやうがありません。むしろ現代日本社会は、子供であっても「消費者」であり、メディア関係で言うなら「視聴率獲得の対象者」であると見做しているのであり、その様に扱われた結果が「子供達の成育＝未来社会を構成する大人」にどう影響するかを論じないまま、或いはある種の悪影響がある

事に気が付いていながら、その購買意欲や視聴意欲を掻き立てる為に様々な研究をしているのです。

ですからこの際、お母さんも一緒に考えてみませんか？そしてこの情報が大切だと思えるなら、子育ては一人でするものではないのですから、子育ての共同作業であるお父さん・おじいちゃん・おばあちゃんにも提供してください。人間＝ヒト(とカタカナで書くと生物学的な動物種を意味します。)が「ヒト」として育つための一番大切な環境は「ヒト」です。自分の子供だけを守っていても孤立するだけになりかねず、この子だけがよくなることなどありえません。ママ友にも教えて、みんなで少しずつ何かを変えていくことはできないでしょうか？

(以下次号)

(平成29年7月 S.URATA MD.)



“子ども・若者とメディアを考える会”

期日：平成30年9月28日(金) 19:00～

場所：玉名市文化センター 視聴覚室

内容：「口から考える子どもの健康」

～愛着・発語・嚥下～

講師：九州看護福祉大学 小児看護科

准教授 二宮球美氏

感染症

up to date! ～水痘～
(水ぼうそう)

初期診断を慎重に！

水痘の病型が変わっています！

この10年ほど、水痘(水疱瘡)の病型が変だなどと思う事が増えました。典型的な水疱瘡は、ヒトヘルペスウイルスの初感染で、発熱はどうあれ、以下のような経過を取ります。

- ① 体幹から始まり、まずはお腹周りの赤い発疹に気付く。
- ② 半日から一日以内に薄い皮膜を持って水膨れになる。
- ③ 初めの2～3日は 発熱毎に身体全体に広がっていく。
- ④ 順次「痂痂化」する。血液が固まる時のツに似ています。
- ⑤ 髪の毛の中にもできるのが特徴。
- ⑥ 潜伏期は2～3週間。自然経過は概7～10日。
- ⑦ 最後の発疹は四肢先端。本人の免疫は完成していませんが、ここが痂痂化すると、他人への感染率は下がります。
- ⑧ 皮疹に混合感染が起きると、時に重症化。最大の合併症は脳炎・脳症です。
- ⑨ 免疫的弱者は重症化。カポジ型と呼び、全身にびっしりできてしまいます。
- ⑩ 一方で、ヒトと共生しやすいウイルスで、神経節内細胞に封入され一生共残存。宿主側の免疫力が落ちると再発症し、神経節の領域に添って症状が出るので、「帯状疱疹」と命名されました。自然経過は免疫力によりますが、初感染より長引きます。

(以下次号)

(H30 年5月 S.URATA MD)